

令和2年5月23日（土）

令和元年度（平成31年度）事業報告

社会福祉法人おひさまと月の里

【社会福祉事業】

令和元年度（平成31年度）は4月1日（月）に入所式を行い、ひよこ組（0歳児）7名、はな組（1歳児）17名、にじ組（2歳児）18名、そら組（3歳児）18名、ほし組（4歳児）20名、つき組（5歳児）18名の合計98名の子ども達を迎え保育事業が始まりました。

入所式後、保護者会総会に於いて職員紹介を行い、担任の発表と役割についてお知らせしました。

平成31年度（令和元年度）の「保育目標」「個別計画」「保育要録」について説明をし、保護者の皆様と保育所が一体となり、子どもの最善の利益の追求のために共に子育てをしていくことを伝え、協力・支援をお願いしました。

苦情・要望に対する窓口は主任で、解決責任者は所長であることを伝え、又、法人に第三者委員会を設置していることも伝えました。

子どもの命を預かる保育所として安全が全てに優先するために、各種研修や毎月の避難訓練も実施しました。年2回実施している救急救命講習では万が一に備えての「AED」の操作手順や心臓マッサージの訓練を多賀城消防署の指導の下に全職員が参加して行いました。

地域との交流も予定通り行いましたが、本年2月頃より新型コロナウイルスの感染が始まり、3月7日（土）に予定していました修了式については、規模を縮小して行いました。19名の修了児が晴れやかに就学への希望を胸に保育所を巣立って行きました。

今後も地域との交流を大切にして、「遊び」を通しての「学び」の土台作りのため、担任を中心に子ども達の環境構成をしっかりと行い、職員一人ひとりが意識の向上・改革に務めて参ります。